

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	歴史A(0213)
科目基礎情報					
科目番号	2Z03		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース		対象学年	2	
開設期	春学期(1st-Q),夏学期(2nd-Q)		週時間数	1st-Q:2 2nd-Q:2	
教科書/教材	川手圭一他著『明解歴史総合』（帝国書院）、『明解歴史総合図説シンフォニア』（帝国書院）、『明解歴史総合ノート』（帝国書院)				
担当教員	佐伯 彩				
到達目標					
・近現代のヨーロッパ世界とアジア世界との交流の歴史についての専門用語や知識を習得する。 ・近現代における国際情勢の変遷を理解し問いを表現することができる。 ・近現代史について自ら問いを表現し、主体的に分析し、かつ、説明することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	近現代におけるヨーロッパ世界とアジア世界との交流に関する専門用語や知識を理解し、説明できる。		近現代におけるヨーロッパ世界とアジア世界との交流に関する専門用語や知識を理解できる。		近現代におけるヨーロッパ世界とアジア世界との交流に関する専門用語や知識を理解できない。
評価項目2	近現代の国際情勢について理解し、説明できる。		近現代の国際情勢について理解できる。		近現代の国際情勢について理解できない。
評価項目3	近現代史について自ら問いを表現し、主体的に分析し、かつ、説明することができる。		近現代史についての自ら問いを表現し、主体的に分析し、端的に表現することができる。		近現代史について自ら問いを表現することも、主体的に分析し、説明することもできない。
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ◎ ディプロマポリシー DP5 ○ 地域志向 ○					
教育方法等					
概要	【開講学期】春・夏学期週2時間 本授業では近現代以降の日本と世界の歴史をさまざまな諸資料を用いて多角的に理解・考察する。現代社会は近代以降の思想・科学技術の進化によってその価値観や社会構造が形成された。歴史資料を読み、様々なデータを分析することにより問題の本質をより深く理解する力を養う。 また、これらの分析・考察をするうえでグループワーキングを行う。このグループワーキングをつうじて、諸々の社会的技能を育成する。				
授業の進め方・方法	授業はアクティブ・ラーニングの手法を基本として授業を実施する。授業の理解度に応じて授業内容を変更する可能性もある。 ・教科書・資料集・授業プリントを用いる。また、予習・復習について、『明解歴史総合ノート』を使用する。また、必要な場合はオンラインでの動画配信も行う。 ・総合評価は日々の授業課題(10%)とレポート(30%)に取り組み、2度の到達度試験（60%）で評価する。 ・総合評価を100点満点とし、60点以上を合格とする。				
注意点	・受講生には積極的かつ能動的に授業に参加し、授業中に自身の社会への理解や関心を表現することを強く求める。 ・国際社会の情勢や現在の我々の社会状況への関心を常に持つておくこと。 ・19～20世紀の歴史は、「非人道性」や「人間社会の暗部」についても垣間見ざるを得ない。授業で用いる資料の選別については慎重に取り扱うが、心理的な負荷がかかるものも多いのであらかじめ留意しておくこと。 ・近現代の国際社会の交流は、現代社会の根幹となる問題にも大きな影響を与えている。理系学問との関係を絶えず念頭に置きつつ、授業に意欲的に参加すること。				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応 ☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス・歴史と私たち	授業に臨む上での注意事項並びに授業の概要について理解する。 「歴史と私たち」を通して、歴史がさまざまな諸資料を用いて叙述されていることを理解する。	
		2週	近代化と私たち①	環大西洋革命で生じた、自由・平等の考え、国民国家の理念について理解する。	
		3週	近代化と私たち②	産業革命が社会にもたらした影響について理解する。	
		4週	近代化と私たち③	ヨーロッパで生じた国家統一とその影響について理解する。	
		5週	近代化と私たち④	帝国主義によってもたらされたグローバリゼーションの影響について理解する。	
		6週	近代化と私たち⑤	幕末における日本と諸外国との関係について理解する。	
		7週	近代化と私たち⑥	日本の近代化と対外戦争の意義について理解する。	
		8週	中間試験 (答案返却とまとめ)	答案返却とまとめを行う。	
	2ndQ	9週	大衆化と私たち①	第一次世界大戦について理解する。	
		10週	大衆化と私たち②	第一次世界大戦の影響について理解する。	
		11週	大衆化と私たち③	第一次世界大戦後の世界の変化について理解する。	
		12週	大衆化と私たち④	大衆社会へと変貌した1920年代の各国の社会状況について理解する。	
		13週	大衆化と私たち⑤	各国で台頭したファシズムについて理解する。	

		14週	大衆化と私たち⑥	第二次世界大戦について理解する。
		15週	大衆化と私たち⑦	第二次世界大戦の影響について理解する。
		16週	到達度試験 (答案返却とまとめ)	答案返却とまとめを行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前1,前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	4	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前1,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	授業課題	レポート	到達度試験	合計
総合評価割合	10	30	60	100
基礎的能力	10	30	60	100